

三河湾ヘルシープラン

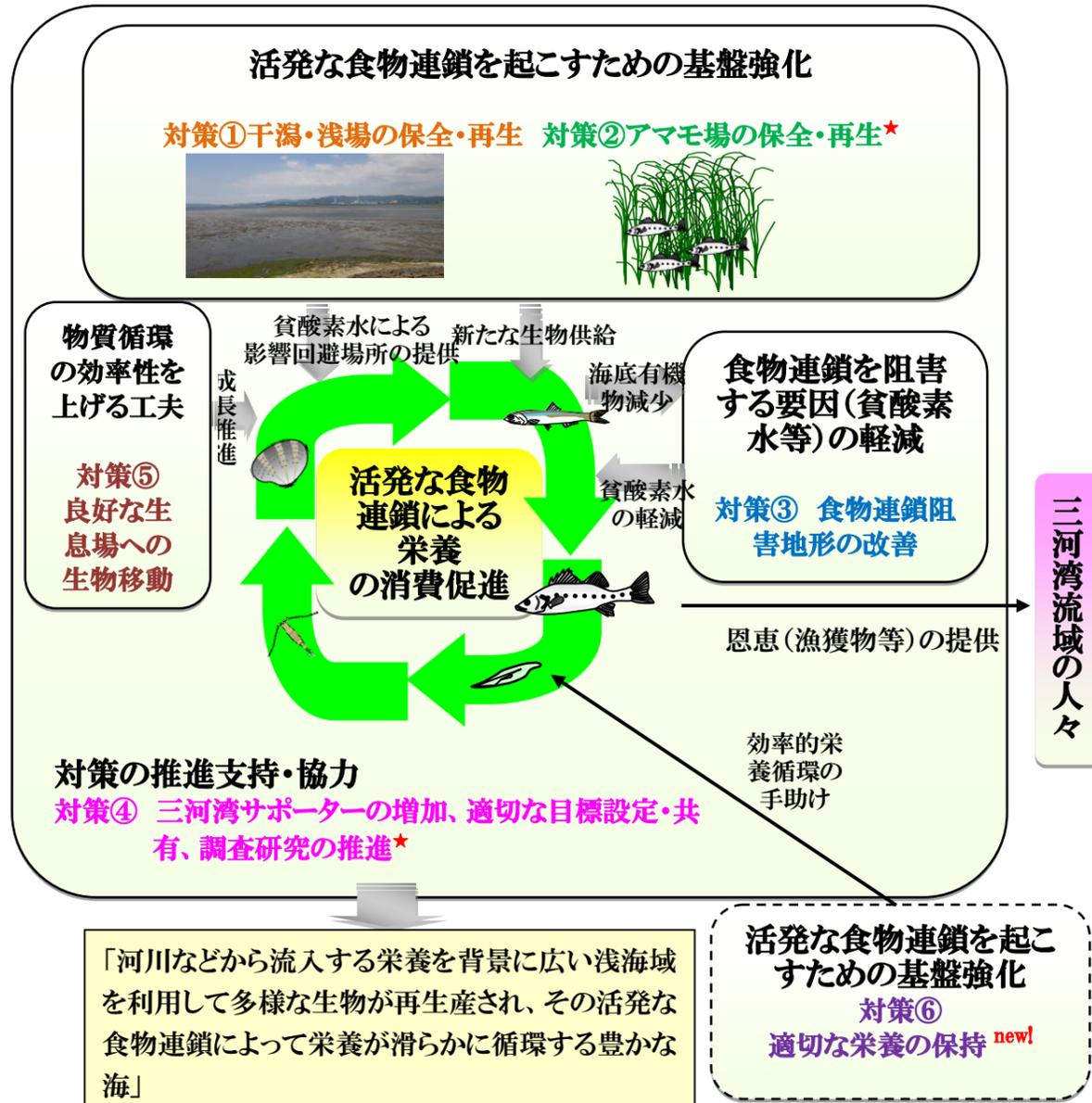
～生物溢れる豊かな海に再生するために～

三河湾ヘルシープランとは何？

- ✓ 三河湾は、多くの生物が生活するかけがいのない場所で、私達の生活は、三河湾から得られる豊かな恩恵に支えられています。
- ✓ 三河湾では、高度成長期(昭和40年代)を中心に行われた埋立などの沿岸の開発、流入負荷の増加により、貧酸素水の拡大などの問題が生じ、生物が減少し、さらに生物の減少が物質循環を滞らせてしまう「悪化スパイラル」の状態に陥っています。
- ✓ 昭和45年には水質の環境基準が設けられ、河川から流れ込む主に無機態の栄養が減らされましたが、その後、一向に問題は解消しません。それは、なぜでしょうか？
- ✓ このような過去の教訓を活かして、三河湾を豊かな海に再生するためには、流域の人々の協力によって、今後どのような対策を行っていくべきかをまとめたものが、このヘルシープランです。

Q1. 三河湾を豊かな海にするための対策とは？

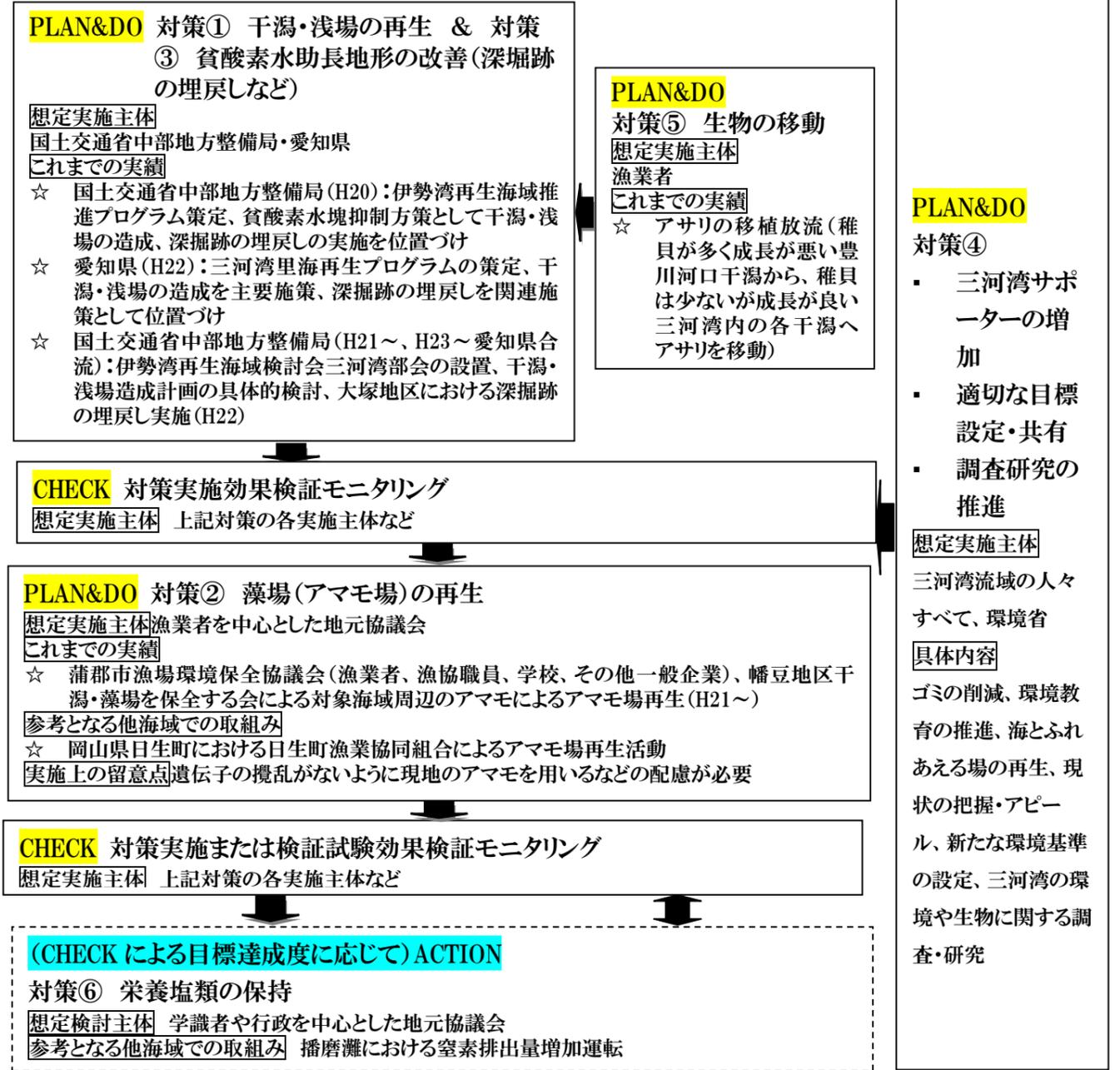
A1. 食物連鎖を活発にする対策とそれを支える社会的な対策が必要です。



★は今後力を入れていくべき対策、new!は今後必要性を含めて検討すべき新たな対策

Q2. 今後、どのような体制で対策を実施していくの？

A2. 既存の実行体制を十分に活用して、流域の人々が協力して、PDCAサイクルを取り入れて実施していくことが必要です。



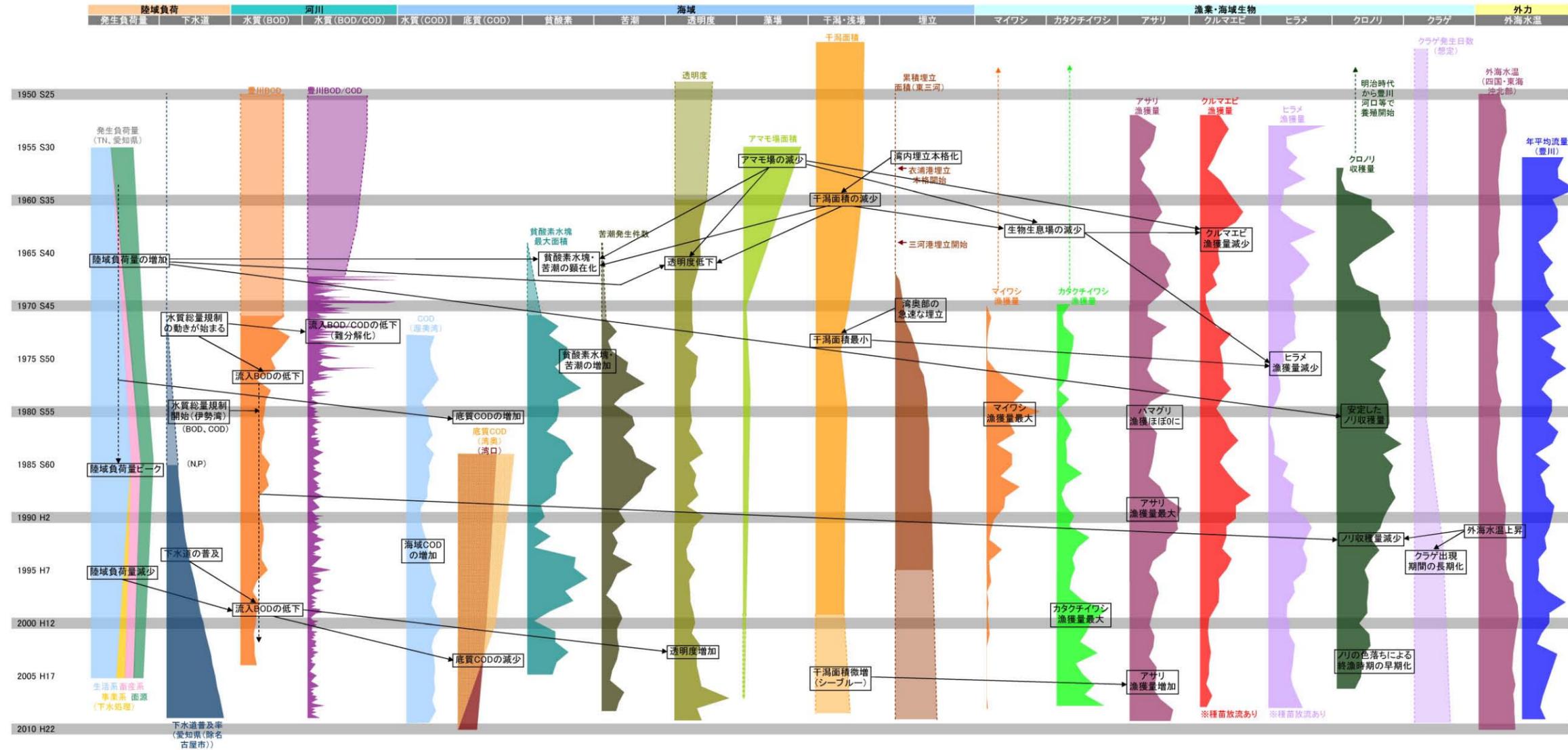
Q3. 今後、対策を実施していくための課題は？

A3. 上記の対策を円滑に進めていくためには、次の3点の課題があります。

- 課題① 干潟・浅場造成材の不足→流域連携を通じた造成材の準備
干潟・浅場の再生を円滑に実行していくためには、その材料となる砂等を大量に準備する必要があります。
- 課題② アマモ場再生活動の継続・拡大
現在、三河湾で行われている漁業者が中心となったアマモ場の再生を支援していく必要があります。
- 高次生態系の役割に関する定量的検討
今後、対策⑥の必要性やその実施規模を適切に検討していくためには、本検討のモデルでは十分に扱えなかった、生態系の上位生物の役割評価が必要です。上位生物に関するモニタリングを充実させて、上位生物を通じて消費される栄養の流れを精度良く再現することが必要です。

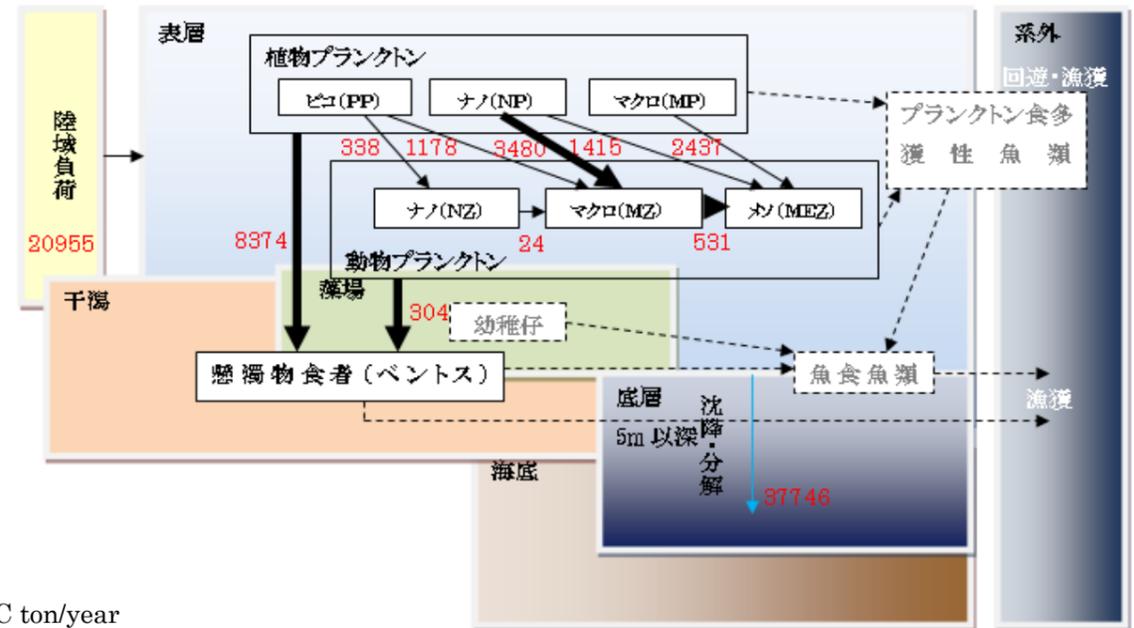
Q4. なぜ、三河湾は健全(ヘルシー)な海ではなくなったの？

A4. 埋立・開発により干潟・浅場・藻場が減少した影響が大きいと考えられます。



Q5. 対策によって三河湾はヘルシーな海に戻りそう？

A5. 物質循環のモデル計算結果から、対策によって、浮遊生態系から底生生態系の物質循環が現状に比べて約2倍程度と太くなり、三河湾内の物質循環が円滑になり、その結果、海底に沈降する有機物は現状の約 70%程度になることが推測されました(右図参照)。対策によって海底へ沈降する有機物は徐々に減少し、三河湾の課題となっている貧酸素水の規模の縮小にもつながるものと考えられます。



単位：C ton/year

注) 点線部分はモデルで考慮していない要素、太黒矢印は対策で太くなる流れ、水色矢印は細くなる流れ